

いただいたご感想
映画「レインマン」で初めてサヴァン症候群を知りましたが、いわゆる自閉症と呼ばれる人々の<異能>には、人間という生物の神秘を感じます。
平凡な風景、平凡な物が祐二君のカメラを通すと不思議な輝きを発することに感動します。ありがとう。
詩人・谷川俊太郎さん

ドキュメンタリー映画／HD／68分
©2014／製作・著作・配給：マザーバード
<http://www.motherbird.net/~bokutuna>



制作・撮影・構成・編集：貞末麻哉子
プロダクションマネージャー：梨木かおり
整音&MA：中山隆匡
ポストプロダクション：Cinema Sound Works
音楽&ナレーター：chiharu

発達障害を生きるとは？

自閉症のアマチュア写真家米田祐二さんが、初めて母の手を離れて沖縄を旅した!!

ごあいさつ

「普通に生きる」と、「ぼくは写真で世界とつながる」この2つの作品を見たとき、日頃まーぶるを通しておつきあいいただいている方達のお顔が次々とうかびました。

どんなに重い障かいを持っていても....発達障害とともにある人の特異な才能をいかして....いろいろいい方で、いろんな手法で障かいとともにある方々のことを世の中に訴える映像作品はこれまでたくさんあった。だけど、どれも私の気持ちにしつくりこないところがあつて、近年はこの手の映像作品は見なくなっていた。でも、この2つの作品は違った。「ううう、ううなんだよね」がたくさん。今回、障かいとともにある人の地域生活と人権を守るというスローガンを掲げて作ったNPO法人まーぶるの5周年記念として、まさにぴったりの作品です。

そうそう、ううなんだよね は必ずしもポジティブな面だけではなくて、困ったことも含めてです。まーぶるの日頃の活動と、地域で暮らすこと、みんなと一緒に楽しく暮らすことで考えてみませんか？

今回は、その映画のあとに、ホルモン屋のエリちゃんもとい！すてきな人権活動家の中山千夏さんを迎えてのお話会も一緒に行います。

そして、会場となる京都光華女子大学さんの協賛をいただき、この西京極に5年前に産声を上げたまーぶるの今後をいっしょに考える機会にもして参りたいと思います。

どうぞ皆様ご来場くださいって、一緒に、ここに居る彼ら彼らとともに、みんなが楽しくくらせる地域作りについて、笑いとともに考えてみませんか。

NPO法人まーぶる 理事長 福富恵美子

ドキュメンタリー映画

ぼくは写真で世界とつながる ～米田祐二 22歳～



NPO法人
まーぶる 創立5周年記念（京都光華女子大学協賛）～みんなが地域で連携し、京都で共にくらすこと！～
ドキュメンタリー映画
「普通に生きる」と「ぼくは写真で世界とつながる」上映会 & 中山千夏さんとのお話し会&米田祐二写真展



普通に生きる

静岡県富士市にある生活介護事業所でら～との取り組みを5年にわたって記録したドキュメンタリー映画

親も子も、それぞれが自分の人生を生きる。
「普通に生きる」
そのための機会を、場を、
福祉の受け手から担い手となることによって、
自分たちで作り上げてきた人々の記録。

もし、私に何かあつたら
この子はどうなるの？

裏面に詳細があります
2作品上映会 &
中山千夏さんをお迎えします!!

日時：2015年12月13日(日)

ドキュメンタリー映画「ぼくは写真で世界とつながる」と
「普通に生きる」2作品の上映とミニライブ&

中山千夏さんをお迎えしてのお話し会

会場：京都光華女子大学

協賛：京都光華女子大学

主催&お問い合わせ：NPO法人まーぶる

TEL:075-874-5639

同時開催 12月11日(金)～13日(日)
米田祐二写真展
in 京都光華女子大学 学生食堂

ナレーター：長谷川初範

制作補：梨木かおり

構成・編集：洪 福貴

撮影・プロデューサー：貞末麻哉子



<http://www.motherbird.net/~ikiru>

©2011／製作・著作・配給：マザーバード

長編ドキュメンタリー映画／SD／カラー／83分

ぼくは「写真」で世界とつながる ～米田祐二 22歳～

ソーンが参加するヤングスミスを乗った。知らない人と過ごす、初めて会う人との間で、そこに会わってくる人々。自閉症者と一緒に生きることを垣間見る六十八分。



祐二君は写真を撮ることが大好きな、気持ちの優しい青年だ。彼は「自閉症」とか「発達障害」とかって呼ばれているワケなんだけど、彼の「障害」を理解して一緒に時間を過ごしてみたら、彼が社会の障害になっていることなんてひとつもないことがわかる。そして、祐二君が息苦しさを感じるとき、祐二君が私たちの提案を拒むとき、自分の思うようにいかなくて混乱するとき、わたしたちは彼の個性や意思や状況を理解できていない。むしろ、彼の障害になっているのは、わたしたち自身であり、社会なんだと気づく。この映画は、初めて手本を離れてアーティストとして生きていく祐二君の旅の記録に

この映画は、初めて母の手を離れてチャレンジした祐二君の旅の記録に、ご自宅での取材を加えた。ご家族が獲得してきた引き出しは、多くの障害がある人たちの、またそうでない人たちにも、一助になると確信している。

撮影・構成・編集・PD：貞末麻哉子

自己アピールと言葉の知識を、障害ゆえに獲得することを遠回りした祐二です。この時代、デジタルカメラの普及のおかげで、写真が祐二の言葉を代弁してくれました。

祐二の写真アルバムを開くと、その時の祐二の声が聞こえます。いつのころからか、祐二の写真は祐二の教科書であり、日記であり、記憶であり、会話の媒体であり、人とつながるスキルなんだと気づきました。

(祐二さんの母) 米田千鶴さん



♪スペシャルミニライブ by chiharu♪

『僕は写真で世界とつながる』で音楽とナレーションを担当したchiharuさんが、映画上映後にミニライブを行います。映画の中に美しく流れた癒しの歌声を、ライブでお楽しみ下さい♪

chiharu プロフィール：母から子どもたちへのラブソングを歌うシンガーソングライター。三人の子の子育てがひと段落した55歳でCDデビューした。 東京都出身・宮城県名取市在



NPO法人 まーぶる 創立5周年記念(京都光華女子大学協賛)~みんなが地域で連携し、京都で共にくらすこと!~
ドキュメンタリー映画
「普通に生きる」&「ぼくは写真で世界とつながる」上映会 & 中山千夏さんとのお話会&米田祐二写真展

2015年12月13日(日)京都光華女子大学

■ タイムスケジュール ■ (開場は 9:30 / 会場にての飲食は不可です)

10:00 開演	「ぼくは写真で世界とつながる～米田祐二22歳～」上映
11:20 開演	chiharu ミニライブ
12:00より	お昼休み
13:00 開演	「普通に生きる～自立をめざして～」上映
14:30 開演	中山千夏さんとのお話会 終演予定16:30

入場無料

同時開催 12月11日(金)~13日(日)
米田祐二写真展
in 京都光華女子大学 学生食堂

中山千賀さん略歴 1948年 熊本県生まれ。10歳の頃より名子役、女優として舞台、テレビ、ラジオで活躍。成人すると共に活動分野が広がり、テレビラントン、歌手として、また数多くのエッセイや小説の作家として活動した。さらに1970年代より、女性解放運動、反差別・反差戦などの市民運動に取り組み、1980年には参議院選挙に出馬して当選、1期を務めた。その後は、著作活動に専念するかたわら、現在は作家を中心に、世間に轟々と書籍とともに響かせ続けている。

協賛：京都光華女子大学
主催&お問い合わせ先：NPO法人まーぶる <http://marble2009.org>

TELE : 075-874-5639 / FAX : 075-874-5640